

山梨県埋蔵文化財センターからのお知らせ

「知ろう 山梨の歴史！ 山梨の遺跡展 2012」 を開催しています。

今年度、県内で発掘調査された成果から、代表的な遺物を展示し、パネルでわかりやすく説明しています。最新情報ですので、ぜひ、ご覧ください。

期 間 平成 24 年 3 月 10 日 (土) ~ 4 月 8 日 (日)
時 間 午前 9 : 00 ~ 午後 5 : 00
(入館は午後 4 : 30 まで)
場 所 山梨県立考古博物館 多目的室

知ろう 山梨の歴史！
山梨の遺跡展 2012

〈埋蔵文化財センター-出展品名〉
山梨県埋蔵文化財センター
美濃遺跡 (郡山市)
上コブケ遺跡 A~C 区 (山梨市)
廻り田遺跡 (山梨市)
膳棚遺跡 (山梨市)
甲府城下町遺跡地方検庁地点 (甲府市)
甲府城下町遺跡御用掛遺跡地点 (甲府市)
甲府城下町遺跡御用掛遺跡 (甲府市)
甲府城下町遺跡御用掛遺跡 (甲府市)
滝沢遺跡 (富士河口湖町)
三ノ原遺跡 (郡山市)
縄文遺跡 (資料館及事業)
〈県内市町村教育委員会出展品名〉
甲府城下町遺跡甲府市役所地点 (甲府市教育委員会)
加賀遺跡 (北杜市教育委員会)
寺本遺跡 (昭和三十九年調査)
赤尾遺跡 (甲府市教育委員会)

2012年3月10日(土) ~ 4月8日(日)

山梨県立考古博物館 多目的室
開館時間：午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)
※3/12、3/21、3/26、4/2 休館日
入場無料

協賛 山梨県埋蔵文化財センター 共催 山梨県立考古博物館
協力 甲府市教育委員会 北杜市教育委員会 甲府市教育委員会 昭和三十九年調査委員会

山梨県埋蔵文化財センター 山梨県甲府市下曾根町2-1 TEL 055-266-3016 URL http://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/index.htm

特別展 「発掘された甲府の城下町」展 ~甲府城と城下町から~

甲府城をとりまく城下町を中心に、その位置や歴史を紹介しながら発掘調査で明らかとなった武家屋敷などでの生活について紹介します。

期 間 平成 24 年 4 月 6 日 (金) ~ 4 月 15 日 (日)
開館時間 午前 9 : 00 ~ 午後 5 : 00 (入館は午後 4 : 30 まで)
会 場 舞鶴城公園 稲荷櫓
記念講演 甲州寺子屋「甲府城下町探訪~地下からのメッセージ~」
講 師 宮澤 公雄氏 (帝京大学山梨文化財研究所)
日 時 4 月 8 日 (日) 午前 10 : 30 ~ 午後 12 : 00
場 所 恩賜林記念館



徳川義直さま

編集後記

寒い日々が続いていますが、園内の梅の花がようやく咲き始め、春の気配も少しずつ近づいてきました。本号では、西関東連絡道路に伴う発掘調査の成果についてまとめてみました。中でも、上コブケ遺跡では、縄文時代の墓域の発見や平安時代の集落の広がりが確認できました。これらの成果については、今年度の「山梨の遺跡展 2012」で展示いたしますので、是非、山梨県立考古博物館へご来館ください。

山梨県埋蔵文化財センター 埋文やまなし 第 41 号

発行日 2012 年 3 月 16 日
編 集 山梨県埋蔵文化財センター
発 行 〒 400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923
TEL 055-266-3016
印 刷 (株) 峽南堂印刷所

山梨県埋蔵文化財センター

ARCHAEOLOGICAL CENTER
OF
YAMANASHI PREFECTURE

埋文やまなし

http://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/ 2012.03.16 第41号

特集!! 西関東連絡道路の発掘速報

かみこぶけ まわりだ ぜんだな 上コブケ遺跡・廻り田遺跡・膳棚遺跡

平成 23 年度、西関東連絡道路Ⅱ期工事区間の整備に伴う発掘調査が行われました。この調査は、山梨市万力から山梨市東までの区間のうち、平成 22 年度に試掘調査されたⅠ工区からⅣ工区で確認された 3 つの遺跡を対象に行われたものです。遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地であった上コブケ遺跡と、新たに発見された廻り田遺跡と膳棚遺跡です。今回は、この 3 つの遺跡について、発掘情報を特集していきます。細かい内容に入る前に、まず、発掘調査の要因である西関東連絡道路について、少しふれておきたいと思います。

この道路は、埼玉県深谷市の関越自動車道花園 IC から山梨県甲府市桜井に至る延長約 110km の「地域高規格道路」です。山梨県内の高規格道路には、東西軸の「中央自動車道」・南北軸の「中部横断自動車道」があり、それを補完する「新山梨環状道路」や「西関東連絡道路」といった地域高規格道路が位置づけられています。現在、それぞれ整備が続けられていますが、「西関東連絡道路」では、甲府山梨道路部分とした区域があり、すでに甲府市和戸から山梨市万力までのⅠ期整備部分は開通しており、峡東地域と甲府市内を結ぶ主要道路として利用されています。



西関東連絡道路路線計画図

上コブケ遺跡空中写真

上コブケ B 区第 10 号埋壺

縄文時代中期の墓域と

平安時代の集落を発見！

上コブケ遺跡

上コブケ遺跡は、山梨市北・南地内の兄川と弟川に挟まれた位置にあります。遺跡は周知の埋蔵文化財包蔵地で、試掘調査の結果、遺跡南側に範囲が増加されました。遺跡の周辺には、ナウマン象の臼歯が発見された兄川河床遺跡があります。

調査は、平成23年5月18日～9月30日まで行われ、対象地面積が約12,000㎡と大きいことと、工事行程の都合から、A・B・C区と3つに大別し進められました。以下、調査区ごとの調査結果を報告します。

A区は、遺物包含層から、縄文時代から平安時代までの遺物が出土しています。遺構は、主に平安時代（約1,000年前）の竪穴式住居跡7軒、掘立柱建物跡3棟、土坑・柱穴約100基が発見され、特に第6号住居跡は焼失住居で、住居を覆う構築材の一部が残っていました。

B区は、A・C区とは様相が違い、主として縄文時代の遺構・遺物が多く発見されました。遺構は、竪穴式住居跡1軒、集石遺構1基、土坑15基、ピット24基、埋嚢12基などが発見されました。遺物は、そのほとんどが今から約4,000年前のものであることがわかりました。特に、人面装飾付土器は全国でも出土例が稀少であることから、この地域での貴重な発見となりました。

C区は、A区と隣接していて、同じ時期のムラの跡だと思われます。竪穴式住居跡が5軒、掘立柱建物跡が11棟、土坑や溝など沢山の遺構や遺物が発見されました。特に、第5号住居跡では、住居壁の内側に巡らされた溝の中から、ほぼ完形の土師器杯や皿が発見されました。これらは、建物内の四隅に近い部分に埋まっていた。



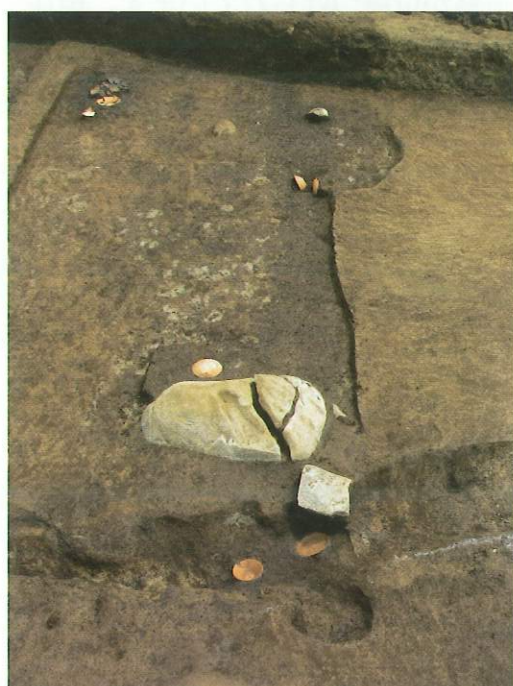
上コブケ遺跡 B区 人面装飾付土器



上コブケ遺跡 B区 土製装飾品



上コブケ遺跡 A区 第6号住居跡検出状況



上コブケ遺跡 C区第5号住居跡遺物出土状況

古墳時代の水辺祭祀か?! 廻り田遺跡

廻り田遺跡は、平成23年9月1日から11月30日まで、調査面積約2,096㎡の発掘調査を行いました。調査の結果、今から約1,700年前の古墳時代の遺構・遺物が確認されました。遺跡は、弟川の左岸に近接しており、当時も河川の影響を受けた跡として、旧河道や溝状遺構が確認されました。そのうちの長さ約35m、最大幅約5mの第2号溝状遺構から、約700点の高坏や甕など土器片が見つかりました。小型片口短頸壺が1点だけ溝状遺構内に置かれるような状態で発見されました。この溝からは、高坏の破片が多く出土しているため、当時の周辺集落に住む人々が、水場に関連する祭祀・儀礼行為をしたのかもしれない。



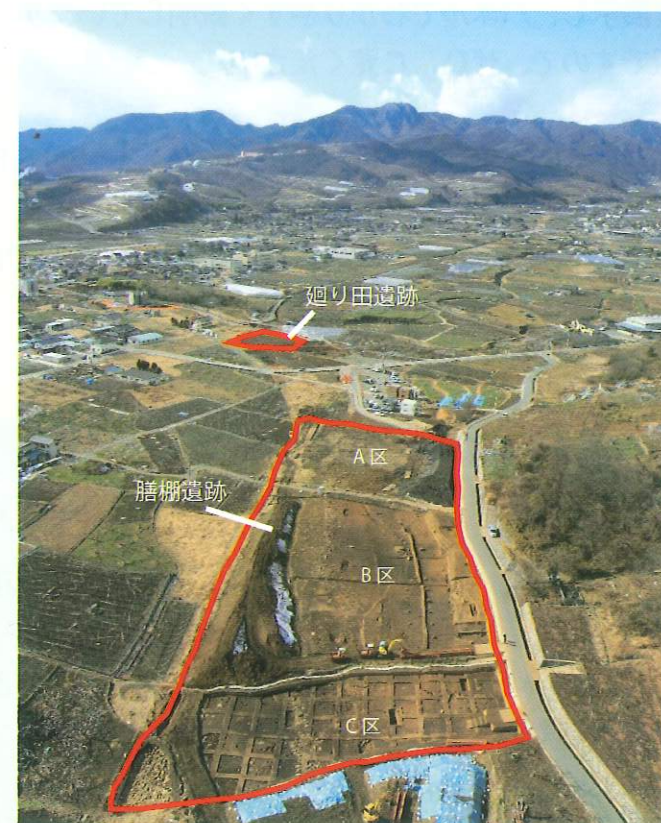
廻り田遺跡 第2号溝状遺構検出状況



廻り田遺跡
第2号溝状遺構出土
小型片口短頸壺



膳棚遺跡 調査風景



膳棚遺跡から廻り田遺跡全景

打製石斧の破片をたくさん発見!! 膳棚遺跡

膳棚遺跡は、平成23年9月1日から平成24年1月27日までの期間に10,547㎡を三区に分けて調査しました。当地は、山梨市北地内の弟川と笛吹川に挟まれた位置にあります。標高477.6㎡の荒神山の裾部に展開する南向きの緩やかな斜面にあり、南には御坂山地を望みその上方には霊峰富士がわずかに顔を覗かせています。また、近くには建物群が重要文化財になっている大井俣窪八幡神社などがあります。調査の結果、小竪穴状遺構1基、溝状遺構17条、土坑164基、ピット146基などの遺構と共に縄文・平安時代の土器類などが検出されました。特に、B区では、石器として取り上げた遺物の多くが、打製石斧あるいはその破片でした。土器の出土量に比べて、石器の割合が多いことから、この地では、たくさんの打製石斧が使われたものと推定されます。今回は、道路建設予定地内でのみの調査ではありましたが、多数の遺構・遺物が発見されたことは、当地での遺跡分布状況の一端を探る歴史資料となったと言えるでしょう。